



Seisen
Junior & Senior
High School

清泉女学院中学高等学校

〒247-0074 神奈川県鎌倉市城廻200
TEL 0467-46-3171 FAX 0467-46-3157 http://www.seisen-h.ed.jp

カイロス

καίρος

第78号

2023年1月20日発行

小さな変化を起こし続ける



進路指導・研究部長
芝崎 美保

今年度の高校一年生が新学習指導要領一年生です。進路指導・研究部では、新学習指導要領の移行がスムーズに進むよう、教務部と連携して、かなり先んじて科目履修の検討を行い、改定前の二〇二一年度より履修年次や授業時間などを変更しました。大学が入試科目を発表する前からの着手でしたが、生徒の希望する進路を実現するにはどのような教育課程が必要なのか、どのような時程・行事予定で進めるのがよいのか考慮を重ねました。

現在、大学が新課程入試科目を徐々に公表しています。注目されるのは、情報I、数学の出題範囲の変更、共通テストの地歴公民の科目選択です。あまり馴染みのない科目名への変更も多数あります。総じて分野に制限をかけず、横断的な学習を意図した科目名となっているようです。受験情報に關しては、今後も生徒対象の進路ガイダンスや保護者会を通して発信していきます。大学入試でどのような変更があっても、基礎的な学力をつけることの重要性は今後も変わりません。

学校は勉強する場ではありませんが、それだけではありません。行事や課外活動を通じて目標を持つことで、行動力が身に付いたり、周りとの関わり方を学んだりします。成功も大切ですが、失敗からも得るものが多いことを実感することも大切です。知的好奇心を持つこと、自習する習慣をつけることで、目標を持つたり、選択をしたりする力が養われます。目標が明確な生徒ほど、行動に移す力があります。

学習指導要領に新しい方向から光が当たるとのに合わせて、前述の通り、本校では「リノベーション」と称し、二〇二一年度から時間割や行事に関する改変、またそれを可能とする仕組み・雰囲気作りを始めました。よく「イノベーションではないのですか？」という質問を受けます。既存の枠組みを超えて協力し、学校をより柔軟な組織にするという工程は、住宅などに使われている「リノベーション」という言葉により近いと感じています。

「枠組み」を変えると、人が加わって「取り組み」が変化します。土曜日の登校に踏み切ったことで、三時間程度のまとまった時間を確保し、グループワーク後に学年全体でプレゼンテーションなどを共有したり、複数の活動を組み合わせたりすることが可能になりました。ICTの活用が早い段階

で進んでいたことで、活動のバリエーションが広がりました。また、生徒の行動で驚いたのは、生徒会の提案でした。数年前は、アイスクリームの自販機が設置されたり、土曜日にキッチンカーがランチ販売に来たりすることは想像していませんでした。授業時間が四十五分から六十五分変わった、土曜日に普段の授業とは違うことをした、コロナ禍によりオンラインで先生や仲間とつながった……普段とは違うことが生徒の周りではなくさん起きました。「学校は変わらない」という認識が、「学校は変わる」に変化したのではないかと思います。生徒も教員も企画を上げて、多くの人を巻き込んで検討し、よりよい環境で一緒に過ごしたいと思うようになったのではないのでしょうか。

学内で様々な教材を検討するのに加え、専門知識を持った外部の方・大学関係者・卒業生の方々に協力いただいています。実はたくさんの方々から協力の依頼をいただいているのですが、うまくマッチングができていないのは今後の課題です。研究部として、今あることに満足せず、少し気になる、ちょっとおもしろいな、と感じたことに今後も敏感でありたいと思います。

伝統や学校目標のような変わらないものを大切に、学習指導要領のように十年という単位ではなく、一年ごと、学期ごと、何か小さな変化を起こし続けられるように思っています。



◆ INSIDE ◆ ② フレッシュマン・リターンズ・第57回中学合唱祭・宗教部 新しい年への「光」 ③ 宗教研究OG講演・中一・中二の土曜探究学習・第十六回全日本高校模擬国連大会本選出場！・清泉百花百景 新美和子先生 ④ 57周年を振り返る 校長先生と巡る清泉・今昔ツアー ⑤ 学生生活進行形 University of California, Berkeley 池田麻莉紗さん ⑦ 短信・賞・異動

「カイロス」は、ギリシャ語で「時」という意味です。